



♡ワクワク★密着！  
ちやいれっく♪

ちやいれっく福生駅前保育園



# お楽しみ会&おさんぽに密着！

駅階段降りて数秒の福生駅前保育園。季節の行事がないときに、隔月でお楽しみ会を行っているということで、取材させていただきました。

## Q. 園の自慢を教えてください！



松瀬園長

「この園は、一人ひとりとの距離が近いので、子どもの成長をみんなで分かち合う事が出来るんです。子どもの小さな成長やエピソードを喜んで語り合える先生たちがいる環境だから、私たちは毎日笑顔が絶えません。」と園長談。

園長の優しい語り方と、マスクから飛び出るような笑顔に、心わじぶかみ♡その安心感に、私も一瞬で柔らかな気持ちになりました。子どもを真ん中に寄り添い、職員もずっと笑っていて、本当にあったかい保育をしていることが伝わります。

## ♡私たちは「大きな家族」

「ここはどんな園ですか？」の質問に「まるで大きな家族みたいです」と職員から声が上がりました。なんて素敵な言葉♡土地柄、様々な国の人が住む街、福生市。国籍、言葉や宗教などを超えて、お互いを尊重しあい、保護者とも一生懸命コミュニケーションを取って、子どもの成長を思いやる先生たちは、本当の家族のよう。遊びや絵本の読み聞かせ、言葉かけ、対応などからも伝わります。一人ひとりに寄り添い丁寧で優しさ溢れる保育をしています。



## 約束の花壇

小規模保育園は、春を迎えると2歳児は卒園します。「またここに遊びに来てね！」の願いを込めて、2歳児のみんなでチューリップの球根を植えました。「花が咲く季節になったら、来てね。また会おうね！」そんな園長との約束の花壇は玄関横にあります。お花の成長が楽しみでもあり、だけど、子どもたちの成長と共に育ち、花を咲かせる頃は子どもたちの別れの季節。先生たちの寂しさと、成長して会いに来てくれる喜びが入り混じるそんな年月を、大切に大切に、今日もここで育んでいます。

チューリップの球根が植えてあります



## お楽しみ会の様子

今月のテーマ

「大きな紙に絵を描こう」



季節の行事がない月は「お楽しみ会」を開催しているとのこと。今月はクレヨンを使って、お部屋いっぱいの模造紙に絵を描きます。「どのクレヨンがいい？それがいいのね」言葉にならない声を聴く先生たち。「大きくかいたね」の言葉がけに、「私のも見てみて！」と言わればかりに子どもたちは描き始めます。

「これ、どうぞ」優しい子が私にもクレヨンを持ってきてくれました。可愛すぎる！自然と笑みがこぼれます。最後にみんなで描いた紙を壁に貼ると「わあ〜！」自分たちが描いた大きな木を見ながら喜びあって、とても誇らしげです。子どもを真ん中に、出来たことを認め合い、分かち合い、優しさで笑い声に包まれた時間が流れていました。



## みんなでおさんぽ



秋晴れの中、気持ちよい風を感じながら、歩ける子は先生と手を繋いで、ご近所をてくてく。カートに入った子もニコニコ。電車を見れば手を振り、青空を見上げれば飛行機に手を振り、近所の人たちが声をかけてくれると笑顔で手を振り返し、街のあちこちに、興味関心というんな幸せを配ってくれています。

通り過ぎる人が口々に「まあ、かわいい」「元氣もらえるわ」と返してくれました。小さくて言葉は流石のように喋れなくても、みんながいるだけで、人を幸せにしている、彼らは街の大きな存在だということを感じます。人懐っこい笑顔がこの街に幸せと元氣を今日も、明日も運んでいくことでしょう。



みんな  
かわいいなあ。  
元氣もらえて  
うれしい！

## ～取材後記～

保育の流れの中での絵本の読み聞かせや、手遊び歌もみんなノリノリ♪手作りおもちゃや給食時間のお皿の上の盛りつけひとつとっても、先生たちの愛情が伝わってきます。子どもたちと楽しんで関わり、職員みんな幸せそうなのがマスク越しからも伝わってきて、雰囲気、対応、笑顔や笑い声に、元氣をもらった幸せな1日でした。誰もが安心して相談しあったり、助け合ったり、笑いあって保育出来る環境があります。まさしく「大きな家族」ですね。ぜひ、そんなあったかいみんなに会いにいってほしい♡ (取材・構成：採用課 中村)